

懇談会 議事録

会場（島防災コミュニティーセンター）

開催日：令和7年10月7日（火） 参加者： 9名 職員 25名

質 問	回 答
<p>寝覚の床の再開発の進行状況は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当初はトイレの所までいっぺんに費用がかかり過ぎると敷地の問題で徐々にやってくる予定。今年度は高杉庵解体・跡地にトイレの基礎を作る予定。 ・交付金の関係で全体的な計画を係の方で作成中。 ・現在、町ではそれぞれが補助金の対象かどうかを判断し、事業を進めているが、木曾町は補助金の担当課長がいて、その担当課長と一緒に計画を作っている。木曾町を参考に交付金を活用できるように考えていく。
<p>①今、寝覚の床で何かできることはないのか、もったいない。 （上松豚を食べれたり、農産物を売ったりできるトラック市など） ②物を作っても売れる場所が分からない。どこに許可を取ればよいか分からない。場所を作って欲しい。</p>	<p>①独自のイベントで11月に太鼓のフェスティバル、発展会で臨川寺で思い出供養を行う。臨川寺400周年のイベントや特別供養を計画中、臨川寺内にもトイレを作っている。 現在、若者が寝覚の床に来ている理由は、SNSでバズっているからで、環境的な維持を優先的にやっている。また、現在来ている人がまた来れるようトイレの建設をしている。 施設整備には時間がかかる。来た人が楽しめることをやりたい。 ・トラック市などは寝覚亭の駐車場や臨川寺内でやりたいという話もできている。中山間の計画の中で土捨て場を公園にすることを計画中で、農業のイベントを行いたい。 ②西中と見帰で直売所があり、グループを作って行っている。本当だったら農協が中心となってやるべきだが、個人でやるには大変で、どこか中心となる組織が今後は必要で、6次産業的な活動をするために、開発センターの方々も高齢になってきたため、若者を連れてきて一緒にやる体制を作りたい。</p>
<p>よろまいかを町民に開放し、物の販売等できないのか。 よろまいかの公衆トイレを開放できないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家を活用して、ホテルばかりではなく若い方が物を売る場所など初期投資をあまりかけないものをNOTEと一緒に考えている ・現在、よろまいかは協力隊が活用している。 ・企業の支援をしたいと考えている。本当に必要な事業にお金をかけるよう町の事業の見直しをする予定。 ・商工会に委託して上松豚を特産品にしようということで、町中の店で少しづつ使い始めている。町中の飲食店などでその店独自の料理が食べられるようにしていきたい。
<p>①よろまいかの屋根の板が年数が経って危険な状態で、トタンだけに変えられないか、また雨どいが落ちて危ない。安全対策を。 よろまいかのトイレが閉まっている。 ②機械化組合についてどこが中心となってやっているか分からない。またコンバイン等が古くなっている。生産者が一部出資して買う等はだめか。機械化組合と生産者ですれ違いがあるため、もっと話し合いの機会を。 ③開発センターが高齢化。次世代につなぐことを考えて欲しい。</p>	<p>①よろまいかは現場をみて対応したい、また公衆トイレは開けておけない理由がある。 ②.③機械化組合や開発センターは、具体化できてないが農業法人の立ち上げをしたい。そこが中心となるようにしていきたい。また、まちづくり会社を立ち上げて町の事業を受けていけるようにしていきたい。（NOTEの企画）</p>
<p>空き家が数件あり、管理ができていない。他人の家だが、年2、3回個人的に草を刈っている。</p>	<p>あくまで個人のもので、行政もなかなか入りこめない。 年1回状況写真を送り、管理して欲しい旨の通知を送っている。何らかの対応をしてくれると思っている。周知の方を徹底していきたい。</p>
<p>中山道について、道を整備する話があるがどうなっているのか。 外国人も歩いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・笹沢は歩道を作っているが、何年もかかる。 木曾古道を職員等で、定期的に草を刈っている。 外国人は人がいないところに行きたがるため、入ってはいけない場所を周知していきたい。木曾全体で、中山道は日本遺産で推している。 ・中山道を歩いてきた人のため町の中で休める所を整備していきたい。
<p>①役場で猟銃の所持者は。 ②役場職員で免許を取り駆除していけないか。</p>	<p>①②役場では0人、町全体では11人。80歳越が何人か。罾は役場で6人くらい。猟銃を持っている任用職員を一人雇っている。その方を中心に現地に罾のかけ方のアドバイスなどをしてもらっている。 木曾郡全体の目標捕殺目標は60頭、すでに超えている状況。 ②中々やれよというわけにはいかない。要望書も上がってきていて、木曾郡全体で考えていかないといけない。猟銃を持っている人が少ないのは問題。</p>
<p>警察の方に猟銃の免許を取ってくれるよう要請は。</p>	<p>町中に出た場合に、町村長の判断で駆除していいということになっているが、どこでも銃を持っている人がいないのと、銃の専門知識のない町村長たちが判断に困っているため、県の方で警察のOBたちに猟銃の免許を取って頂き駆除班に入って欲しいと要望したが、以前断られた経緯がある。</p>